

株式会社ツツイファクトリー

2023年度環境経営レポート

(対象期間: 2023 年5月1日 ～ 2024 年4月30日)



作成日: 2024年5月31日
改訂日: 2025年3月27日

□ごあいさつ

当社は愛知県西尾市を拠点として、特殊電動機から建設機械まで幅広い分野で活躍する中大物機械の部品加工の専門企業です。“でっかい”夢を持った技術者たちが自ら創意工夫をして“でっかい”製品を造り、共にモノを創る喜びを日々実感しています。当社の製品が地域の発展を生む一端になることが当社の目指す“でっかい”理想です。その“でっかい”理想・夢の実現に向けて、少数精鋭の仲間たちが日々技術の追求に励んでいます。

株式会社ツツイファクトリー
代表取締役 筒井 成彰

環境経営方針

<基本理念>

㈱ツツイファクトリーは下記に定める基本方針に沿って環境への負荷を抑え、環境に配慮した事業活動を行うことで、次世代がより良い社会生活を送ることのできる地球環境の継承に努めます。また、社員と共に働きがいのある職場作りに努め、社会貢献にも寄与致します。

<基本方針>

1. 環境関連法規制及び当社が約束したことを遵守します。
2. 以下の事項について具体的な環境経営目標、環境経営活動計画を定め、継続的な改善を実施します。
 - ①省エネルギーに努め、二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
 - ②事業活動で発生する廃棄物の分別を徹底し、リサイクルの推進に努めることで廃棄物の削減に取り組みます。
 - ③節水に努め、使用水量の削減に取り組みます。
 - ④事務用品のグリーン購入を推進します。
 - ⑤環境に配慮した物品の購入を推進し、設備等は省エネ・省資源を考慮して選択します。
 - ⑥事業活動においては良品の生産に努め、不良品を出さないように心がけます。
 - ⑦地域社会との調和を図りながら、環境保全に取り組みます。
3. 環境経営を実践し、見直しすることで環境経営システムの継続的な改善を実施します。
4. 本方針を全従業員に周知徹底し、環境意識の向上を目指します。

制定日：2016年6月10日

改定日：2019年5月1日

改定日：2021年5月1日

改定日：2022年6月14日

代表取締役 筒井 成彰

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社ツツイファクトリー
代表取締役 筒井 成彰

(2) 所在地

愛知県西尾市法光寺町流55番地1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 社長 筒井 成彰 TEL : 0563-53-0185
担当者 課長 瀧塚 靖樹 TEL : 0563-53-0185
事務連絡係 筒井 亜樹 TEL : 0563-53-0185

(4) 事業内容

運搬機器、特殊電動機、産業機械部品加工
主要製品: 特殊電動機部品、工作機械部品、建設機械部品、運搬機器部品
成型機部品

(5) 事業の規模

製品出荷額 226,921 千円
主要製品生産量 不明 トン

	本社・工場
従業員	19
延べ床面積	1,838㎡

(6) 事業年度 5月～4月

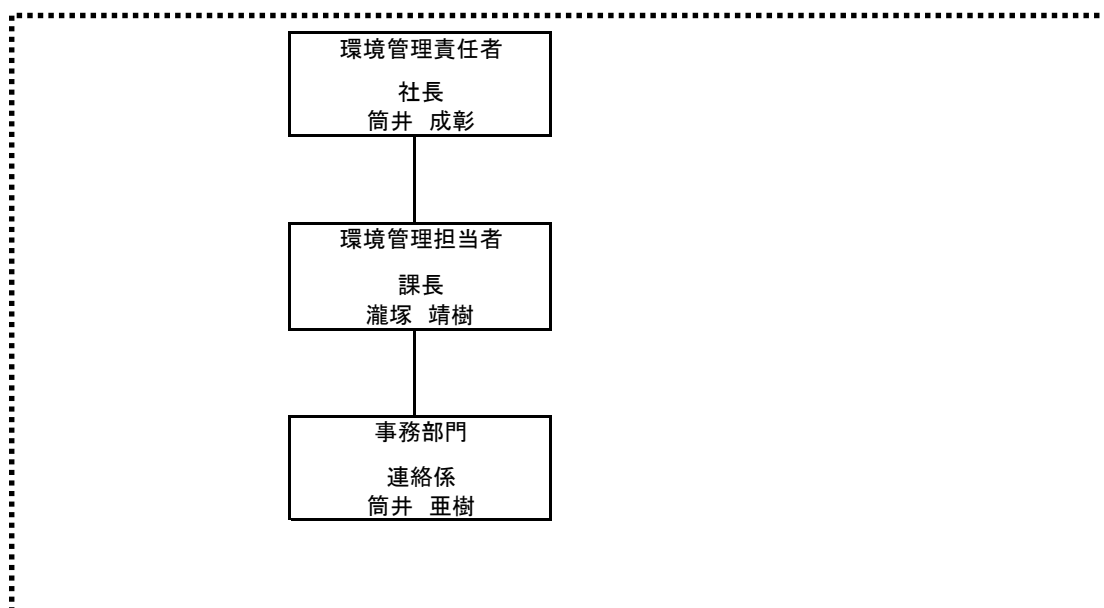
□認証・登録の対象組織・活動

登録事業者名: 株式会社ツツイファクトリー
対象事業所: 本社・工場

対象外: なし

活動: 機械加工(特殊電動機部品などの加工)

□実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認 ・環境活動計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
事務部門;連絡係	・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標・環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	159,947	163,611	178,131
廃棄物排出量	kg	5,800	86,320	74,240
一般廃棄物排出量	kg	1,000	1,100	1,290
産業廃棄物排出量	kg	4,800	85,220	72,950
総排水量	m ³	403	352	330

※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.449 kg-CO₂/kWh 2023年(R3年度実績)
環境省電力事業者別CO₂基礎排出係数使用 0.406 kg-CO₂/kWh 2022年(R2年度実)
0.406 kg-CO₂/kWh 2021年(R2年度実)

□環境目標及びその実績

年 度 項 目		基準値 (基準年度)	2023年		2024年	2025年
			上段:通年			
			(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	160,728	154,299	161,995	154,299	152,692
	基準年比	2017年	96%	101%	96%	95%
LPGによる二酸化炭素削減	kg-CO2	654	641	550	641	634
	基準年比	2017年	98%	99%	98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	22,109	21,446	15,586	21,446	21,225
	基準年比	2017年	97%	70%	97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	183,491	176,386	178,131	176,386	174,551
一般廃棄物の削減	kg	1,180	1,109	1,290	1,109	1,097
	基準年比	2017年	94%	109%	94%	93%
廃油の削減	kg	3,760	3,384	4,400	3,384	3,346
	基準年比	2017年	90%	117%	90%	89%
水道水の削減	m ³	469	446	330	446	441
	基準年比	2017年	95%	70%	95%	94%
きりこの全量販売	kg	104,380	104,380	68,550	104,380	104,380
	基準年比	2017年	100%	100%	100%	100%
不良率の削減		0.9%	0.9%	社外への不良品流出	0.9%	0.9%
	基準年比	2017年	100%	8.5%	100%	100%

□主な環境負荷の評価

《二酸化炭素の削減》

昨年度に引き続き消費電力の多いコンプレッサーや水銀灯は夜間止めている。基準年と比較して、売上や稼働率が減少傾向にあったが、CO₂削減についての数値目標は未達成で、加工手順の確認不足などにより不良率も増加してしまった。事業存続のためには、売上の維持、増加は必要不可欠であることから、不要なエネルギーの消費を避け、効率の良い良品の生産を徹底しなくてはならない。客先との信頼関係を確実に構築する上でも良品の生産活動はより必須になってくる。改めて作業手順の確認を今以上に遵守することを徹底していく。また、日程調整を図り、1回の走行で数か所の納品をする回数を増やし、ガソリンなどの燃料消費の削減に努めた。引き続き、納品の為の自動車使用による二酸化炭素の発生を削減できるよう心掛ける。

《廃棄物の削減》

廃棄物の発生は、時期により増減する。(休暇前の大掃除など)今年度初めより、事務の効率化と図面の管理などの観点より創業以来保管していた大量の書類を整理している。守秘義務のある内容の書類ばかりの為、裁断処理をしているので基準年より廃棄量が増加する結果となった。

《排水量の削減》

改修工事完了後特に問題はなく、使用後の水栓を閉め忘れない呼びかけをすることも併せて、今後も使用水量の確認をしながら削減に努めていく。

《不良率の削減》

加工数の多いロットで不具合が発生したことが不良率が上昇した要因の一つと思われる。また、検査基準の変更も要因の一つであると思われるが、この件に関しては取引先と協議を重ねる必要がある。どちらにしても本来は社内での不良品発生を抑制しなくてはならないので引き続き手順の確認を徹底していく。

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標:○達成 ×未達成

活動:○よくできた △さらに取組が必要 ×全くできなかった

取り組み計画		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
電力による二酸化炭素削減			
数値目標	×	今年度は稼働率が低下しているにもかかわらず、基準年とほぼ同様の結果となった。年々温暖化の影響で寒暖を迎える時期に変化が生じてエアコンの使用度も増加している。また、加工の不具合もあり、本来不要であろう電力の消費が増加したことも大きな要因とみられる。不良品を発生させない為の対策が今まで以上に必要だと思う。	
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）	○		
・不要照明の消灯（休憩時等）	○		
・OA機器の節電モード設定	○		
・節電シールでの啓蒙	○		
・空気圧縮機のエア漏れ点検	○		
LPGガスによる二酸化炭素削減			
数値目標	○	油を使用する職場なので、手洗いなどで温水を使用する冬期はガス使用量は増加するが、全体的に見て、基準年より稼働率の減少にも比例して、ガスの消費は削減された。次年度も引き続き蛇口の開閉を小まめに行うことで、使用温水量を減少させると共に、ガスの使用も抑えるよう従業員にも朝礼などで働きかけていく。	
・温水温度の適正化	○		
・温水配管の点検	○		
自動車燃料による二酸化炭素削減			
数値目標	○	機械の稼働率が高くなかったことと、1回の出車で数社への納入や材料の引取りをするなど効率を考慮して走行したことで数値目標を達成することが出来た。	
・アイドリングストップ	○		
・エコドライブを心がける	○		
・定期的に車両を点検する	○		
一般廃棄物の削減			
数値目標	×	今年度初めより事務作業の効率化を図る目的で、不要になった創業以来保管していた書類を大幅に処理している。守秘義務を含んだ書面ばかりの為分別することは不可能で裁断した廃棄物が増加した。	
・分別の徹底	○		
・事務用紙は両面使用する	○		
・古着をウェスとして使用する	○		
廃油の削減、きりこの全量販売			
数値目標	○	今年度も多忙を極めた為処理場見学は叶わなかった。処理場は見学を何時でも受け入れているとの由なので、次年度以降に見学を実施したいと思う。	
・油の濃度管理の徹底	○		
・油漏れの無いよう定期的に点検する	○		
・作業工程の確認	○		
水道水の削減			
数値目標	○	水道に関しては、今年度は問題なかった。	
・節水シールの掲示	○		
・朝礼での節水呼びかけ	○		
・漏水の有無の点検	○		

グリーン購入の推進		
・新たに購入する際に下記について検討する		EA21ガイドラインの改訂に伴い、事務用品グリーン購入についての評価は努力義務になったが、引き続き購入時にはグリーン購入に心がけていく。
・事務用品のグリーン購入	○	
・有害性の少ない資材	—	
・省エネ性能の高い電気製品	—	
・燃費の良い自動車	—	
社会貢献		
・用水路周辺の清掃	○	用水路周辺の草刈りの実施。 子供御輿へ協賛。
・子供御輿への協賛	○	
不良率削減		
数値目標	×	加工数の多いロットでの不具合発生や検査基準の変更など不良率を上昇させた要因に対して対策を立てる。基本の加工手順は確実に遵守し、検査基準の解釈については引き続き取引先と協議を行っていく。
・異常発生時の早急な報告と対応の協議	○	
・正確な作業手順の遵守	△	
・助言を求めやすい環境の整備	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（金属くず、廃油等）
騒音・振動規制法	空圧機
フロン排出抑制法	業務用空調機
消防法	消防設備の点検と管理
浄化槽法	浄化槽2基(工業団地で管理)
顧客要求事項	化学物質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等は過去3年間（あるいはこれまで）ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

2024/5/31実施

＜評価＞売上を上げる生産活動と二酸化炭素排出削減は相反する部分があるが、基準年の変更や目標数値の見直しで数値的には目標に近づいたと思う。その上、今年度は基準年と比べて稼働率が減少したことが目標達成に至った要因とも思われる。（不良率が増加したにも関わらず数値目標を一部達成できたのも稼働率自体が低くなっていた＝消費電力の減少 からだと思われる）不安定な世界情勢に連動した物価の上昇により更に稼働率が減少している為全体的に使用するエネルギー量は少ないはずだが、不良品を発生させるなど非効率な業務が目立つ年度だったように思う。事業の存続の観点からみると、売上の維持・上昇は必要不可欠である。その為にも、最小限のエネルギー消費で効率の良い生産活動を行わなくてはならない。次年度はもう一度、加工不良率を下げ、不要な二酸化炭素の発生を抑えることも重点目標に掲げていく。客先への信頼関係にもつながると思う。

＜指示＞

以下の項目を継続で行う

- ①不具合発生率の削減の徹底。
- ②正確な作業手順を確認し、良品の生産に努める。
- ③納品日程を調整することで、1回の走行で数か所納品を実施し、ガソリン・軽油の使用量を削減する。

＜次年度における新たな指示＞

- ④消防設備不備な点について、改善計画を策定する。

□環境活動の紹介
子供御輿協賛



消火器の交換

